

参加費  
無料

# 大学職員向けセミナー 「就職支援とマッチング」

コロナ禍3年目の夏を迎えました。今秋から就活準備が本格化する大学3年生の多くは2020年4月入学者であり、思い描いていた大学生活とのギャップに悩み、不安を抱える年次です。内外の環境は大きく変化しており、学生の学びや就職支援に関わる人たちは、常に思考や手法をアップデートする必要があります。昨今は不幸なことに、企業と就活生、職場と若手社員、教員と履修者、キャリアセンターと学生など、社会の各所でミスマッチが発生しているような気がしてなりません。今年も就職支援と情報源に焦点を当てたセミナーを企画しましたが、テーマはずばり「マッチング」です。相性とは何か、相思相愛の企業といかにして巡り合うのか、基調講演の海老原嗣生氏は雇用分野で有数の論客であり、採用する側の事情も知悉しています。特別講演の菊池健司氏は情報検索の達人で「1日1冊」を30年続ける読書の鬼でもあります。今後の図書館やキャリア支援部署はどうあるべきか、諸問題を考えるために最適の識者が存分に語ります。さあ皆さま、夏の終わりにオンラインでお会いしましょう。奮ってのご参加をお待ちしています。

開催  
日時

2022年9月29日(木) 13:30~16:50

開催  
方法

オンライン  
(Zoom ウェビナーを予定)



申込  
方法

▼セミナー参加申し込みフォームからお申し込み下さい  
<https://form.toyokeizai.net/enquete/dcl2022/>



申込  
締切

2022年9月27日(火)

## プログラム

スペシャルトーク 13:30 ~ 14:50

### 海老原 嗣生

雇用ジャーナリスト 厚生労働省労働政策審議会人材開発分科会委員  
大正大学 表現学部 特任教授 中央大学大学院 戦略経営研究科(MBA) 客員教授



**プロフィール**・1964年、東京生まれ。大手メーカーを経て、リクルートエイブリック(現リクルートキャリア)入社。新規事業の企画・推進、人事制度設計等に携わる。その後、リクルートワークス研究所にて人材マネジメント雑誌「Works」編集長に。2008年、人事コンサルティング会社「ニッチモ」を立ち上げる。ニッチモ代表取締役、リクルートキャリア社フェロー(特別研究員)。「エンゼルバンク」(週刊モーニング連載、テレビ朝日系でドラマ化)の「カリスマ転職代理人・海老沢康生」のモデルでもある。「雇用の常識「本当に見えるウソ」」(ちくま文庫)、「女子のキャリア」(ちくまプリマー新書)、「なぜ7割のエントリーシートは、読まずに捨てられるのか?」(東洋経済新報社)、「お祈りメール来た、日本死ぬ」(文春文庫)、「経済ってこうなってるんだ教室」(プレジデント)、「AIで仕事がなくなる論のウソ」(イーストプレス)、「人事の成り立ち」(白桃書房)など著書多数。2021年4月より厚生労働省労働政策審議会人材開発分科会委員を務める。

### ■「なぜ、辞めるか? 定着を深める『入り口』での見極め」

- コロナ禍における採用と面接
- 「あなたらしさ」を見つけるには
- 5つの軸で「社風」を分析
- 職種と自分の相性を探る
- 面接手法の進化 ~「受け」から「攻め」へ

休憩 14:50 ~ 15:00

実践報告 15:00 ~ 15:40

### 西村 雄吉 東洋経済新報社 教育事業推進部長

**プロフィール**・明治大学法学部卒業後、住宅メーカー、専門出版社を経て2002年に東洋経済新報社へ入社。広告局、データ事業局を経て、2014年よりマーケティング局電子出版チームにて、オンラインデータベース、デジタルアーカイブ、電子図書館を担当。現在はデジタルメディア局 教育事業推進部長として全国の大学図書館・キャリアセンター主催セミナー、リクナビや楽天みん就のイベント出演など学生向け講演は年間30回以上。2016年から青山学院大学経済学部、2020年から明治大学商学部において、前期2単位の「企業の見方」講座を開講し、アクティブラーニング授業のプロデュースを手掛ける。2021年からは國學院大学経済学部教員とのコラボでSDGsに特化した双方向型授業「政策デザイン」の設計に携わり、講師も務める。

### ■「データベースで探し調べる良い会社」

- 対面授業におけるリモート演者の活用
- 企業人から見た学生のプレゼンテーション
- 大学生が取り組んだSDGsワーク
- ワード検索で未知の有望企業を探す法

スペシャルレクチャー 15:40 ~ 16:50

### 菊池 健司

日本能率協会総合研究所 MDB 事業本部エグゼクティブフェロー

**プロフィール**・1990年に日本能率協会総合研究所(社団法人日本能率協会のグループ法人)へ入社。途中、外資系金融機関での勤務を経て現在に至る。民間企業、官公庁、独立行政法人、大学、自治体等からの要請に応じ、公開情報を中心とした情報提供業務に長年携わる。現在は、情報収集・活用手法のセミナー・研修はもとより、未来予測や新規事業探索、特定ビジネスに関するトレンド解説、定期訪問勉強会等を各企業にて日々実施。2021年6月より、ラジオ NIKKEI「ソウミラ〜相対的未来情報発信番組」(毎週月曜日20:20~)にレギュラー出演。「今週の読まめは損」(日本能率協会マネジメントセンター J.H.倶楽部)にて書評連載中。



### ■「これから何が起こるのか? —大学職員が持つべき未来構想力」

- ビジネスシーンにおける注目トレンド
- コロナ後をどう捉えておくべきか
- 就職支援者が持つべきビジネス視点と先読み目線
- 大学人のための必見情報源 2022

主催 東洋経済新報社

協賛 紀伊國屋書店

お問い合わせ

東洋経済新報社 デジタルメディア局 教育事業推進部 [担当: 西村]  
✉ [dcl2013@toyokeizai.co.jp](mailto:dcl2013@toyokeizai.co.jp) ☎ 03-3246-5668